

モニタリング結果報告書

施設 芦ノ湖キャンプ村
 指定管理者 (社) 神奈川県観光協会
 施設所管課 観光課

(平成22年度 下半期)

管理運営状況総括

1 月例報告書によるモニタリングの概況

報告月	受理日	確認通知日	備考(確認事項等)
10月	11月10日	11月17日	月報・現地確認等で仕様書に定める条件は充足していることを確認した。
11月	12月10日	12月17日	〃
12月	1月7日	1月17日	〃
1月	2月10日	2月18日	〃
2月	3月10日	3月16日	〃
3月	4月8日	4月22日	〃

2 指定管理者が提案した取組み等の実施状況

(1) 提案内容の達成度

A: 提案を上回る B: 提案どおり C: 提案を下回る

(2) 実施状況等

指定管理者の選定に際して、サービスの向上や利用促進の観点から提案された各取組み等について、提案内容の要旨とそれに対応する形で実績又は今後の見込みを記載する。

<提案内容の概要>

「観光ハイライトかながわ」へ継続的に掲載及び観光情報 HP「観光かながわ NOW」での定期的な特集を組むほか、旅行会社等との連携による広報宣伝を行う。

<実施状況>

(広報宣伝)

- 実業之日本社「首都圏から行くオートキャンプ場ガイド2010」(4月発行) 掲載
- 実業之日本社「関西・名古屋から行くオートキャンプ場ガイド2010」(4月発行) 掲載
- 昭文社「まっふるマガジン箱根」(4月発行) 掲載 他17件
(大手旅行会社による商品造成)
- 赤い風船「秋冬の旬感満彩 箱根へ行こう」
期間：平成22年10月1日～平成23年3月31日
人数：60名
- 赤い風船「卒業旅行 とも旅」
期間：平成23年1月5日～平成23年3月31日
人数：8名

<提案内容の概要>

施設の特徴を活かした新たな取組みとして、キャンプ村をベースとした遊び方プログラム・体験型プログラムの作成及び指導を行う。

<実施状況>

- 寄木細工教室
・10月23日(土) 35名、11月10日(水) 132名

3 収支状況（単位：千円）注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しません。

	収 入 額			支出額	収支差額	
	指定管理料	利用料金 (前年同月料 金額)	その他収入			
年間予算額	130,250	0	99,150	31,100	134,900	△4,650
上半期計 (a)	86,359	0	66,287 (68,108)	20,069	52,606	33,753
下半期計 (b)	26,973	0	20,956 (25,706)	6,017	67,596	△40,623
10月	10,103	0	7,603 (8,272)	2,500	16,789	△6,686
11月	6,133	0	4,442 (4,847)	1,691	7,950	△1,817
12月	4,195	0	3,662 (3,822)	533	7,340	△3,145
1月	2,768	0	2,386 (2,457)	382	10,194	△7,426
2月	2,065	0	1,667 (1,367)	398	4,547	△2,482
3月	1,709	0	1,196 (4,941)	513	20,776	△19,067
合計 (a+b)	113,332	0	87,243	26,089	120,202	△6,870

1 指定管理者の収入を記載する（県の収入である「使用料」は含まない）。

2 「その他収入」は、都市公園の駐車場収入、雑収入、寄付金収入など指定管理料と利用料金以外のすべての収入を記載する。

収支状況に関する意見等

・半期計欄の収支差額が、収入額又は支出額のうち低い方の額の1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。

・また、収支差額に1割以上プラスが生じた主な理由が、人件費の削減である場合は、年度協定における人員配置計画と比較し、合理性が認められるか否かを記載する。

・年間予算額の収支が均衡していない場合は、その理由を記載する。

指定管理者である（社）神奈川県観光協会において、一般会計への繰り出しを行ったため、支出が収入を上回った。また、観光協会からは、10月及び3月に、県に対する納付金として、合計1,700万円が納入されている。

（今期に行った資本的な収入及び支出等の状況）

	内容	金額(千円)
収入の状況	なし	なし
支出の状況	なし	なし
積立等の状況	なし	(期首) なし
		(期末) なし

収入の状況：定期預金の取り崩し、借入れによる収入があった場合等は、その旨を必ず記載する。

支出の状況：車両の購入、施設の増改築、また定期預金の積み立てを支出に含めた場合等は、その内容を必ず記載する。

積立等の状況：積立・借入れ等がある場合は、その内容（施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等）、当該期首及び期末の金額を必ず記載する。

4 利用状況

	利用者数	前年同月利用者数	前年対比増減率
上半期計 (a)	28,674 人	30,522 人	△6.1%
下半期計 (b)	9,943 人	11,392 人	△12.7%
10月	3,944 人	3,696 人	6.7%
11月	2,334 人	2,522 人	△7.5%
12月	1,389 人	1,589 人	△12.6%
1月	912 人	969 人	△5.9%
2月	792 人	552 人	43.5%
3月	572 人	2,064 人	△72.3%
合計(a+b)	38,617 人	41,914 人	△7.9%

利用状況に関する意見等

〔半期計欄の前年対比増減率が、1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。〕

〔3月は、冬季の天候不順に加え、東日本大震災の影響により例年と比較し大幅に利用者が減少した。〕

5 苦情・要望等の状況

(施設受付分)

報告月	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	メール	アンケート	
10月						0
11月						0
12月						0
1月						0
2月						0
3月						0

(施設所管課受付分)

報告月	口頭	文書	合計
月			0
月			0
月			0
月			0
月			0
月			0

6 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況 特になし

〔類似の苦情や要望が多く寄せられたもの、苦情や要望をもとに対応した取組みが利用者へ評価されたもの、苦情や要望のうち対応したいと考えるが、諸般の事情により対応できないものなどを記載する。〕

分野	概要	対応状況
施設・設備	・	
	・	
職員対応	・	
	・	
事業内容	・	
	・	
その他	・	
	・	

7 事故や不祥事等の発生状況 特になし

利用者や職員が死傷した場合、業務の実施において法令違反等による指導や処分を受けた場合及び個人情報や公金の管理等において不適切な取扱い等があった場合は、その概要と対応状況を記載する。なお、利用者の死亡事故や個人情報の流出等、重大な事故や不祥事が発生した場合は、県庁改革課に任意の様式により速やかに報告書を提出する。

発生日	概要・対応状況等
月 日	
月 日	
月 日	

8 随時モニタリングの実施状況 特になし

事故や不祥事の発生等に伴い、施設所管課が随時モニタリングを実施した場合は、調査内容や結果を記載する。

実施日	対応者等	経緯・調査内容	調査結果
月 日			
月 日			

9 上(下)半期の所見等

1～8の各項目の状況等を踏まえ、指定管理業務をより効果的・効率的に推進する観点から、反省点や改善策等を記載する。

指定管理者	<p>下半期の収入実績は約 2,700 万円で、予算 3,570 万円に対して約 75%、前年実績に対して約 81%と大きな減収となった。東日本大震災前の 2 月までの実績としては、予算対比約 87%、前年対比 95%であった。</p> <p>減収の要因としては、震災以前から箱根全体における宿泊客の減少が続いていたことに加え、特に大きく減収となった 10 月と 11 月に関しては、団体利用の減少が影響したと考えられる。具体的には、前年実績に対して、10 月は 1 団体が減少（学校団体は 2 校減少）、11 月は 2 団体が減少した。</p> <p>利用団体のニーズとして、施設の利便性はもとより、経費面についても重視する団体が多いことから、利用者にとって経費低減につながる工夫を凝らした提案・営業を展開していくことが求められる。</p>
施設所管課	<p>平成 20 年度以降利用者数が減少しており、特に冬季の利用率向上が課題である中、箱根全体の観光客数が減少しているという背景はあるが、運営にあたってはより積極的な利用促進に向けた努力が求められる。</p> <p>平成 23 年 4 月に変更した新たな指定管理者には、施設の維持管理、利用料金の見直し、新たなイベントの企画等、新たな取組みが期待されるとともに、県としても利用率向上に向けた適切な指導に努めていく。</p>